

## 長井市(山形県)ほか:山形鉄道フラワー長井線 地域と協働した地方鉄道活性化の取組み

人口	30,929 人	モード	鉄軌道
面積	214.69 km <sup>2</sup>	法令	—
人口 密度	144.06 人/km <sup>2</sup>	運営 主体	山形鉄道



### ■ 取組の背景

#### 地域と交通の状況

#### 【公共交通の利用者減少】

- 山形鉄道フラワー長井線は、山形県長井市、南陽市、白鷹町、川西町にまたがる路線長 30.5km の第 3 セクター鉄道(国鉄からの転換路線)である。
- 平成 18 年度のフラワー長井線利用者は 77 万 4,000 人で、昭和 63 年の開業以降で最小にまで落ち込んだ。また、平成 4 年には約 6 億 3,000 万円あった運営助成基金残高が、平成 18 年度には約 1 億円まで減っている。

#### 活用メニュー(制度・協議会等)

- 「地域の足であるフラワー長井線を地域のアイデアで支える」との考え方により、沿線地域の住民活力と交流ならびに観光等の地域資源と結びつけた地域活性化やまちおこしを図るため「フラワー長井線利用拡大協議会」が県、沿線 2 市 2 町及び域内の各種団体の参加により組織されている。

### ■ 実現したサービス

#### 取組み内容

#### 【案内サービス】【新駅の設置】

- 山形鉄道では、地域の協力を得て次のような取組みを行っている。

#### ➤ Net トレイン

- 平成 15 年 6 月から、地域の町おこしの一環として計画されている市内中心部のネットワーク構築事業に協力するため、全国でも事例の少ない列車で移動しながらのインターネット接続サービスを開始した。
- 地元の協力者として、地元のまちづくり団体長井村塾が提案および技術提供を行い、企業のメルコ(コンピューター関連機器メーカー)が社会貢献の一貫として機器の提供を行った。

#### ➤ 新駅

- 平成 14 年 6 月に開業したあやめ公園駅は、ホームなどの総工費約 1,120 万円を市民の寄付金で賄って作られた駅である。観光地「あやめ公園」や長井工業高校に近く、観光客や高校生の利便性を高めた。
- 当駅の駅舎は、長井工業高校生徒による手作り、材料は PTA が負担し、環境システム科等の生徒が教員の指導のもとに製作した。その後、駐輪場も高校生が製作(平成 17 年 7 月)し、更に利便性を高めた

#### ➤ 駅の壁画

- 「地域づくりを担う子供達に、地域の良さを考えて欲しい」として、長井青年会議所が創立 40 周年記念事業の一環として企画した。
- 平成 17 年 8 月、長井市内の小学生 2 年生～中学 3 年生 64 人が参加して長井駅の壁画を製作した。(幅 30 メートル、高さ 4 メートル=写真)

## ■ 効果と負担

### 効果

- ・ 各施策は、地元テレビ及び新聞に取り上げられ宣伝効果があった。
- ・ 新駅のあやめ公園駅の利用者数は、平成 14 年度(10ヶ月間)の 190 人から平成 19 年度の 458 人へと増加した。これは新駅効果により、あやめ公園への観光客が大幅に増加したためである。

### 負担

- ・ いずれの施策も地域の負担によって行い、山形鉄道の負担を極力抑えている。

【地域負担】

## ■ プロセスと調整

### 地域との連携

【連携:住民】

- ・ 山形鉄道では、沿線住民向けにフラワー長井線をもち立てるヒントを探る講演会を行い、地域住民とともに赤字路線の今後の経営のあり方を探る試みをしている。講演会では、富山県高岡市の第 3 セクター「万葉線」の再生に貢献した住民団体「RACDA 高岡」の会長などが招かれ、参加者との対話が行われた。
- ・ 利用者の減少傾向が続くフラワー長井線を地域で支えていく鉄道であるということを改めて考え、マイレール意識の高揚と利用拡大を図る目的に「住民会議」を実施。利用する高校生をはじめ、沿線地域の関係者や住民など幅広く参加した。その中で、沿線の中学校や高校、住民の方々から「いま、自分たちにできることは」と題して意見発表し、名実ともに“わがマチ列車”にしようという宣言をした。

## ■ 創意工夫・知見・教訓

### 地元まちづくり団体との協働

【知見:住民参加・主体性発揮】

- ・ 「長井村塾」は地元商店街の空洞化に問題意識を持った地域住民が平成 12 年に立ち上げた民間主導のまちづくり団体である。無線インターネットの提供を行っていることから、フラワー長井線のインターネット導入では「長井村塾」による支援が行われた。そのほか、さまざまなイベント等で協力をしている。
- ・ 沿線の関係団体で組織している「フラワー長井線利用拡大協議会」の事業として、フラワー長井線を利用して、地域活性化やまちおこしを行う団体に対し、事業支援を行う“マイレールサポート事業”がある。この事業により、様々な企画列車(七夕列車・サンタ列車・ひな祭り列車等)や駅前商店街及び各種イベントと連携し、フラワー長井線の利用拡大のみならず地域の活性化に寄与している。

## ■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：長井市企画調整課 電話 0238-84-2111

山形鉄道 電話 0238-88-2002

参考 URL：山形鉄道 <http://www.flower-liner.jp/>